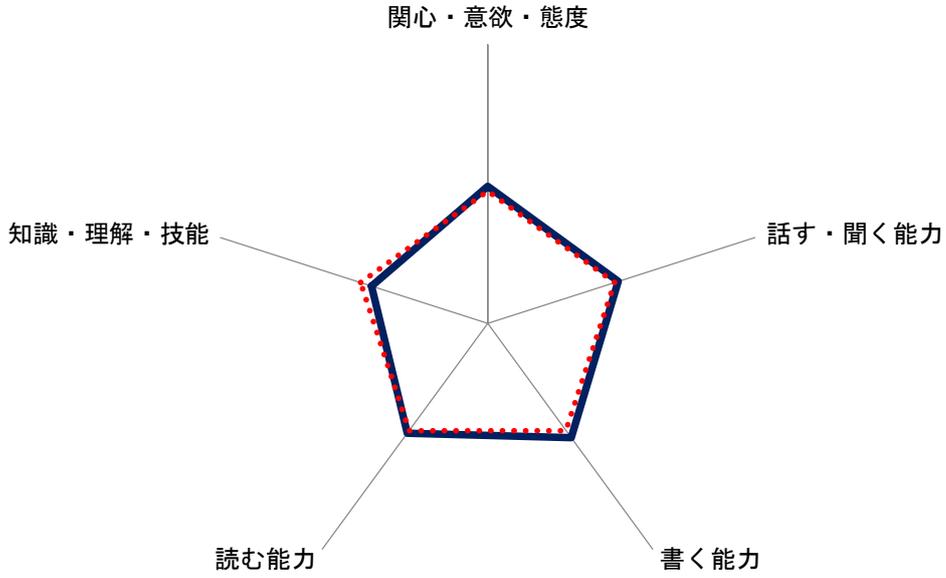


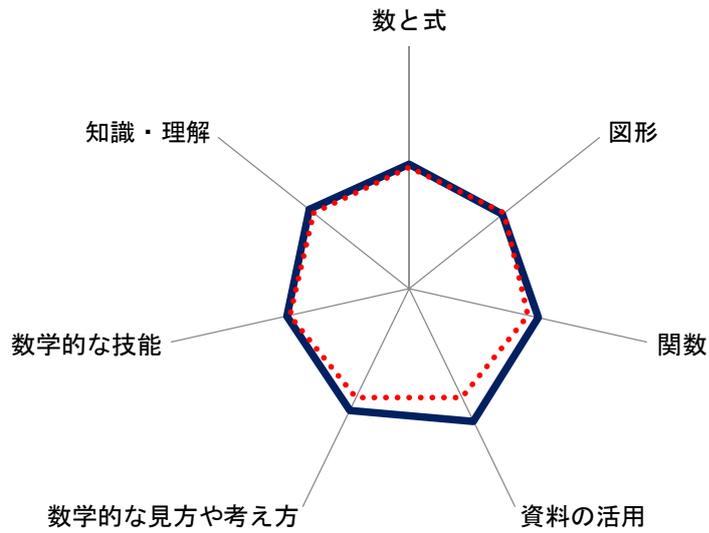
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

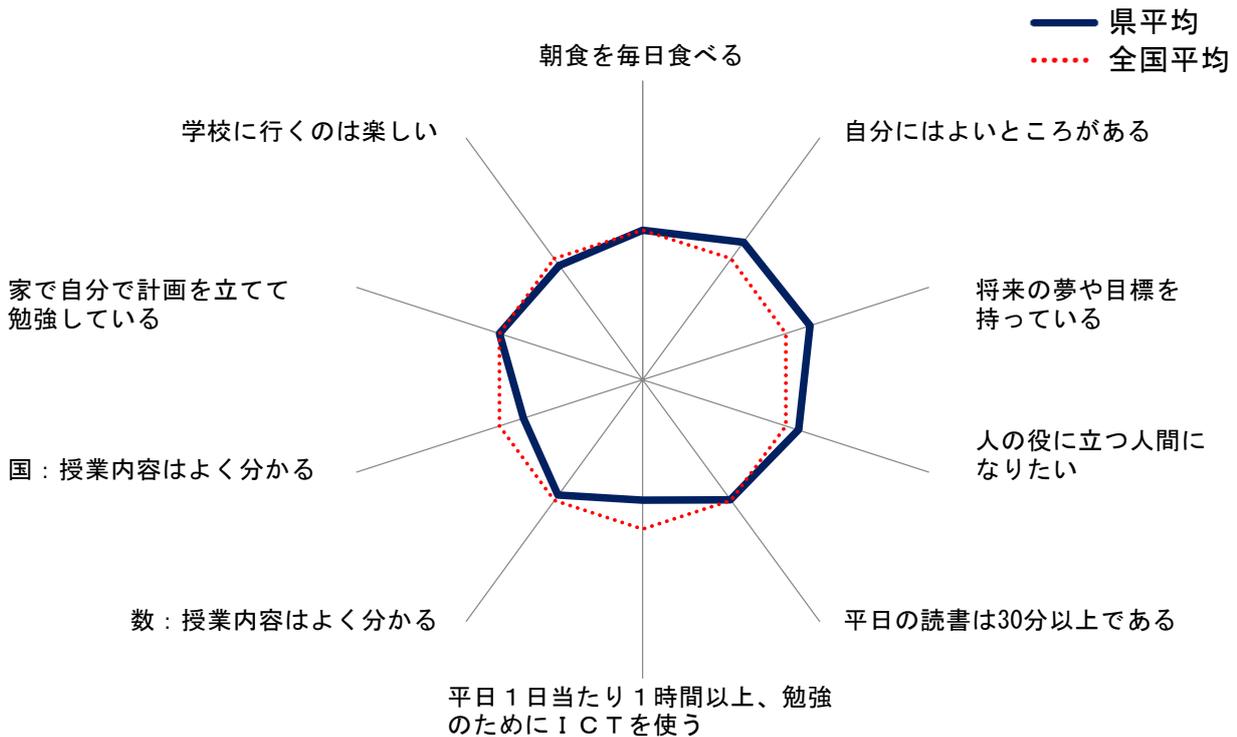
— 県平均  
..... 全国平均



【数学】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、ほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に、数学の「資料の活用」の項目が良好な結果となっている。一方、国語の「知識・理解・技能」の項目が全国平均を下回っており、今後、基礎的な知識及び技能の定着に向けた取組をより一層充実させた上で、その活用を一体的に捉えた学力の育成に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続する必要がある。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがある」などの項目が全国平均を上回っており、この結果はキャリア教育の継続した取組の成果であると考えられる。「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」の項目は小学校と同様に全国平均を下回っており、ICTの積極的な活用に向け、ICT教育推進ガイドラインを基に、小中学校が連携した取組を推進していく必要がある。「国語の授業内容はよく分かる」の項目も全国平均を下回っており、生徒にとって「楽しい授業、分かる授業」となるよう、県作成の授業改善リーフレット等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った更なる授業改善が必要である。